

区(道路管理者)の指導で

日本共産党

日本工学院の風害対策を

日本工学院本館ができて、5年になろうとしています。地域の住環境が大きく変わりました。周りの道路が広くなり、本館裏の広場の樹木の植栽や芝生による緑化により、交通安全上や環境が良くなったことや、防災上も安全になった面も有ります。

しかし、一方で本館と12号館の間の道路が、風の強い日には、「怖くて歩けない」「吹き飛ばされて怪我をしそうになった」との苦情の声が多数寄せられています。

また、本館の周りの道でも、雨の日は「風があると傘がさせない」、「傘を何本も壊されたかわからない」という苦情の声も多数寄せられています。

風害について、建築説明会では建築前と後では、「大きな変化がない」と業者からの説明がされたと記憶していますが、これでは、説明が不十分と言わざるを得ません。

現在、植樹による対策に続き、工作物による風害対策をすすめているとのことですが、今後どのようなになるのか住民への説明がありません。

工学院通りはじめ工学院本館の周りの道路は区道です、道路管理者として住民の安全を守るため、日本工学院へ風害対策を行うよう区が指導すべきです。



区議会議員

大竹辰治

事務所 西蒲田5 9 12
電話 (3735) 2611
FAX (3736) 9453



日本共産党大田地区委員会の見解を紹介します。
2015年3・4月号外 発行 大田民報社 北馬込1-4-12 佐藤勲



日本工学院の風害対策に関する陳情

大田区長 松原忠義様

住民の安全を守るため、日本工学院へ風害対策を行うよう区が指導していただきますよう陳情いたします。

署名に
ご協力を

氏名	住所